

消防試験研究センターだより vol.380

Voice...9

2020



top

令和時代の防災士

こだま

山梨県立都留興譲館高等学校「本校における危険物取扱者試験への取り組み」

支部の広場

滋賀県支部からお届け



表紙によせて

琵琶湖博物館のナマズ／表紙上段

滋賀県立琵琶湖博物館の水族展示室に展示されている「ナマズ」。このナマズは現在では全国各地で見られますが、滋賀県にはこのナマズのほかに琵琶湖にしかない固有種のナマズとして、大きさが1mを超える「ビワコオオナマズ」と主に岩礁帯にすむ「イワトコナマズ」がいます。いずれも琵琶湖博物館で見ることができます。

(写真提供：滋賀県立琵琶湖博物館)

比良山系から望む／表紙下段

麓から日本最速のロープウェイで約5分、標高1,108mの比良山系打見山へ。琵琶湖をパノラマで望む山頂には、大人から子どもまで楽しめるアクティビティや、自然を満喫できる高原エリアが広がります。春は桜、5月はスイセン、秋には山一面を染める紅葉、冬はスキーリゾート。寒暖差が生む独特な気候、季節ごとに変わるその表情が感じられます。

(写真提供：(公社)びわこビジターズビューロー)

①名勝「玄宮楽々園」(彦根市)

「玄宮園」は、国宝「彦根城」の場内に江戸時代に造られた大名庭園で、隣接する「楽々園」とともに「玄宮楽々園」として国の名勝に指定されています。「近江八景」を表した庭園とされ、大きな池泉に浮かぶいくつかの島を橋が結んでいる大規模な池泉回遊式庭園と、「臨池閣」「八景亭」といった往時の御殿を池のほとりに残し、借景に眺められる彦根城天守とともに見事な庭園風景です。(写真提供：(公社)びわこビジターズビューロー)

おにゅうだに

②小入谷の雲海と紅葉 (高島市)

滋賀県と福井県の県境に位置し、おにゅう峠から見る景色は訪れる人々を魅了します。例年10月下旬頃には紅葉も見ごろを迎え、運が良ければ雲海の中に彩られた山々が浮かぶ奇跡の絶景を見ることができます。訪れる人々の心を魅了する神秘の大パノラマです。(写真提供：(公社)びわこビジターズビューロー)

③信楽焼(甲賀市)

信楽焼は甲賀市信楽町を中心に作られる伝統的な焼き物で、平安時代に起源をもつ日本六古窯の一つです。信楽の土は焼き締めると「火色」と呼ばれる独特の発色を出し、野趣あふれる暖かな味わいを見せます。タヌキの置物でも知られており、今年3月まで放送されたNHK朝の連続テレビ小説「スカーレット」の舞台としても紹介されました。(写真提供：(公社)びわこビジターズビューロー)

④八幡堀(近江八幡市)

安土桃山時代に豊臣秀次が八幡山城を築城した際、市街地と琵琶湖を連結するために造られ、城下町が栄える要因となった町の一大動脈です。江戸時代には、近江商人の発祥と発展、また町の繁栄に大きな役割を果たしました。堀に沿って、裕福な豪商たちの白壁の土蔵や旧家が立ち並び、華やかだった当時の様子をよく伝えていきます。近年になって、船着き場などが復元されました。(写真提供：(公社)びわこビジターズビューロー)

002

top

令和時代の防災士
日本防災士機構 理事長
高田 恒

004

こだま

山梨県立都留興譲館高等学校
本校における危険物取扱者試験への取り組み

006

支部の広場

滋賀県支部からお届け

008

topic

合格体験記
瀬川 雅樹
岩手県立黒沢尻工業高等学校
機械科3年

010

研究最前線

市街地火災における飛び火に関する研究

012

消防庁の通知・通達等

014

業務報告

6・7月の試験実施結果・免状作成状況

9
Voice...

消防試験研究センターだより

2020 September vol.380

令和時代の防災士

1 はじめに

今年の7月豪雨により、九州をはじめ全国各地で河川の氾濫、土砂崩れが発生し、多くの方が亡くなるなど大きな被害が生じました。豪雨の原因は主に梅雨前線上の線状降水帯ですが、こうした現象が近年毎年のごとく続いており、改めて水害への対策が問われています。また、平成23年の東北地方太平洋沖地震後、その余震を含め各地で地震が発生しており、近い将来には南海トラフ巨大地震の発生も高い確率で見込まれ、地震への備えも一段と必要となっています。

こうした中、今年に入ってから新型コロナウイルスの感染は、ワクチンや薬のない中で世界中を混乱に陥れ、我が国においても未だ終息の見通しが立っていません。予想を超える災害が続き、まさに、国民一人一人がわが身に振りかかる災厄に毅然と立ち向かい、自分の身は自分で守ることを実践しなければならない時代となっています。

2 防災士制度の創設

我が国の災害対策が大きく変わったのは、平成7年1月の阪神・淡路大震災の発生であります。あの素晴らしい大都市が一瞬のうちに崩壊し、多くの人命が奪われました。考えもしなかったところで地震が起こりうることを目の当たりにした日本人は、どこに住んでいても地震に襲われる可能性があることを強く認識しました。

これにより、防災を担っていた国、都道府県及び市町村は災害対策を根本的に見直しせざるを得なくなりました。具体的には、発生した災害の情報をいち早く把握し国等関係機関に連絡する体制を確立すること、国、都道府県及び市町村は24時間365日の危機管理の体制をしっかりとしたものにする、どこの市町村においても自分のところで大きな地震が発生したことを想定して防災計画を見直し住民に周知すること、国、都道府県の広域の協力体制を強化することなどの対策が次々に進められました。

こうした災害対策の見直しには、コンピューター技術、情報通信技術あるいは気象予報技術の急速な進歩が大きく貢献してくれたところであり、我が国の防災は随分



と進化したように思われます。

一方、災害が大きくなればなるほど、行政の力が間に合わないことも実証されました。阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊により救出を待つ方々の約八割が近隣の住民の手によって助けられました。これを機に行政に頼らない防災や被災地支援を住民自らで行うという動きが前にも増してみられるようになりました。

防災士の制度は、こうした情勢の中で平成15年に創設されました。「自助」「共助」「協働」の理念のもと、防災に対する強い意識を有し、防災に関する一定の知識、技能を持っている人に防災士の資格を付与し、平常時には地域の防災教育や防災訓練あるいは地区防災計画の策定に参加、災害時には避難誘導、避難所の運営あるいは復旧・復興の手助けをしていただくなど、防災・減災に関し地域のリーダーとしての役割が期待されています。

特に21世紀に入って地震、豪雨、火山の噴火などで想定外の現象が続出し、地元の役所からも各地域の危険性が分かる精緻なハザードマップが提供されるようになり、住民一人一人の防災意識も高まるとともに、日常的な防災活動が全国的に推進されるようになりました。そうしたことを背景に「防災士」も年々増加し、今年6月末には累積認証数が196,515人に至りました。

3 防災士養成の特色

防災士は、認定特定非営利活動法人日本防災士機構（以下「機構」という。）が認証する民間の資格制度であります。認証の手順は、機構が認証した防災士養成研修機関が実施する一定の研修を履修し、その上で防災士資格取得試験に合格、かつ救急救命実技講習を修了し



た者に認証状を交付します。その特色を申し上げますと次の通りです。

(1) 防災士の資格を取得するための研修については、制度創設以来民間の研修機関が主となって実施してきましたが、今日では民間が実施する研修は認証者数の三分の一程度で、自治体や大学等が実施する研修が多くなっています。自治体では資格取得のために助成をしている場合も多く、防災士は資格取得後も自治体の防災事業との関わり合いを持ち、自治体にとっても自前の防災士を養成することは地域防災力を高めるために意義あるものとなっています。

また、最近では、国公立、私立を問わず、大学における講座に防災士の養成研修を組み込み、講座の修了者へ防災士の資格を取れるようにしています。大学の中にもサークルを作り、独自の防災活動をするなど、若い人たちのアイディアが活かされています。

(2) 防災士研修の教材には、機構が毎年改訂している「防災士教本」を使用しなければならないとされています。

教本は、災害の発生の仕組み、災害に関する情報、各機関の災害対策、自助、共助及び防災士制度と6章に分かれ、防災に関する知識について総合的に学べる内容となっています。研修に当たっては、実技・演習を含め少なくとも12項目について直接講義を聞くことを義務付けており、その他の講目についても自ら自習することとされ、できるだけ充実した研修が実現できるようになっています。

(3) 我が国には、消防士、消防団員、警察官といった職務として防災に関する知識や技術を有している方々がいます。そうした方については、研修等の免除といった特例を設けて加入を推進しており、退職された後ばかりでなく現職においても防災士として活躍していただいています。このことは防災士全体の力を高めることにもなっています。

4 今後の課題

折角とっていただいた防災士の資格を活かせないのもったいないことです。また、社会の進展に伴い、防災の分野も当然に変化しています。今後防災士が常に活躍できるためには、次のような点に取り組まなければなら

ないと考えています。

(1) ネットワークの形成

防災士は、老若男女様々ですし、仕事の内容もまちまちです。退職した方もいますし、学生の方もいます。ところが制度が始まって以来、防災士になった方々の実態を体系的に把握できておりません。日本防災士会の約1万人の方、機構のメールマガジンに参加していただいている約2,800人の方には直接情報を提供していますが、全体としての連携を図るには至っていません。

いざという時に防災士の方々に連絡が取れ、近隣の中においても広域的にも連携がとれるようなネットワークができれば、防災士の力を更に活かせることとなります。防災士のネットワークの形成、そのための名簿の管理が今後の課題となっています。

(2) 防災能力の向上

時代の進展とともに、働き方や日常生活も変わり、災害の形態も変化してまいります。そのため、防災士の皆様に最新の情報を提供し、また研修の機会を設け、より高度な知識、技術の習得を進める必要があると考えています。更に、防災士の方に色々な資格・能力を備えてもらうならば、幅広い防災力の確保に繋がります。

本誌を発行されている消防試験研究センターが実施されている危険物取扱者資格で申し上げますと、災害時においてガソリン等の危険物の取り扱いで苦慮された話をよく聞きます。発災後、危険物を除去したり、使用したりする際、現場に取扱いのできる資格者がいないために、災害支援活動に大きな支障が生じることがあります。我が国の中で資格なしではできない業務は沢山あり、防災士になる方、防災士になった方には是非ともこうした資格の取得にチャレンジしていただきたいと思っています。

5 おわりに

防災士は今年度中に累積認証数が20万人に達することが見込まれています。機構としては、令和の時代において防災士の皆様が大いに活躍できるような環境づくりを考え、わが国の防災力の向上のために努めてまいります。皆様のご支援を心よりお願いします。



山梨県立都留興譲館高等学校

本校における危険物取扱者試験への取り組み

芦澤孝彦 (あしざわ たかひこ)

山梨県立都留興譲館高等学校
環境工学科 教諭

1. 学校の概要

本校がある都留市は、山梨県東部に位置する人口約3万人の都市で、自然が豊かな歴史ある城下町である。市内にはリニアモーターカー実験線の拠点があり、東京に近く交通の便が良いことから工業団地を有し、機械・電子系の企業が多数誘致されている。

本校は、谷村工業高等学校と桂高等学校を再編した総合制高校で、平成26年4月に開校した新しい学校である。学科構成は英語理数科、普通科、機械工学科、電子工学科、制御工学科、環境工学科の6学科で、約600名の生徒が学習やクラブ活動に励んでいる。それぞれの学科の特性をいかした、多様で専門性の高いカリキュラムを用意し、生徒の学習ニーズに対応できる体制をとっている。

外部機関との連携も積極的に進めており、都留文科大学、健康科学大学、県立産業技術短期大学校都留キャンパス、神奈川工科大学との連携、小中学校や地元企業などとも連携を行っている。また、都留市はアメリカ・テネシー州のヘンダーソンビル市と姉妹都市であることから、ヘンダーソンビル市の高校と交流を行い、国際教育にも力を入れている。

2. 英語理数科・普通科について

英語理数科は、理数専門科目を軸に英語専門科目も加えた学習を通し、高い英語力に裏付けられた論理的思考力を育むとともに、積極的に学習に取り組む生徒の育成を目指



山梨県高校生英語ディベート大会優勝
全国大会出場 (英語部)

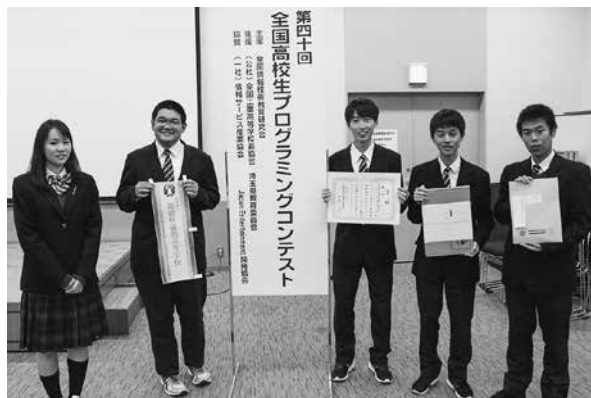
している。文系、理系両方の進学に対応できるカリキュラムを設定し、国公立、難関私立大学進学等、高度な進路希望に込んでいる。普通科は、1年次に全ての分野に共通する必修科目の学習を中心に、基礎・基本の確実な定着を図り、2年次からは各自の進路希望にあわせて、「国公立類型」・「理数類型」・「看護医療類型」・「文数類型」の4類型から選択することにより、各自の進路実現に向けた学力の育成を目指している。

3. 工業4学科(機械工学科・電子工学科・制御工学科・環境工学科)について

工業4学科は一括で募集するため、生徒は入学時には学科に所属していない。1年次の前期に「工業技術基礎」で



Honda エコ マイレージ チャレンジ (機械工学科)



全国高校生プログラミングコンテスト (電子工学科)



ロボコンやまなし（制御工学科）



ものづくりコンテスト測量部門（環境工学科）

4学科の内容を体験したうえで、後期からは希望する学科に所属して専門分野の学習を深めていく。普段の学習はもとより、各学科の特性をいかして、県内外の各種コンテストや競技会へ積極的にエントリーして優秀な成績を収めている。主なものとしては、機械工学科の全国ソーラーラジコンカーコンテストin白山やHonda エコマイレージチャレンジへの出場、電子工学科の全国高校生プログラミングコンテストへの出場（昨年度優勝）、制御工学科のロボコンやまなしへの出場、環境工学科の「ものづくりコンテスト測量部門」への出場などが挙げられる。

資格についても各学科でカリキュラムに応じた資格の取得を奨励し、積極的に取り組んでいる。機械工学科及び制御工学科では、技能士（機械加工、機械検査、マシニングセンタ、電子機器組立など）を中心に、電子工学科では技能士や電気工事士に、環境工学科では2級土木施工管理技術検定、有機溶剤作業主任者などに取り組んでいる。資格指導は放課後を利用して各科の教員が指導にあっているほか、技能士については外部から指導者を招聘して指導をお願いすることもある。

また、卒業後に就職を希望する生徒については、2年次の夏季休業中に3日間から5日間の企業実習に参加させ、就業意欲の高揚や正しい職業観・倫理観を身につけさせている。

4. 本校における危険物取扱者試験への取り組み

危険物取扱者については都留興譲館高校の前身である谷村工業高校時代から受験を推奨しており、素晴らしい成績を収めてきた。危険物取扱者の重要性は入学してくる生徒にも理解されており、本校においても工業4学科共通の資格として生徒の受験希望が多く、昨年は乙種全類を卒業までに取得する生徒も輩出した。また、最近では普通科の生徒の中にも受験をして、合格する生徒がでてきている。普通科の生徒が危険物取扱者試験を受験することは、普通科の授業内容とは関係がないように感じるかもしれないが、危険物取扱者試験の「基礎的な物理学・化学」の内容は、化学の内容と関連している部分も多くある。そのため危険物取扱者試験の学習をすることが、化学に対する興味の喚起や基礎力向上の一役を担うと考えている。大学によってはAO入試において、危険物取扱者免状を持っていると優遇される場合もあり、工業科・普通科共通の資格として、普通科の生徒にも積極的に挑戦してほしいと考えている。

5. 危険物取扱者試験に向けた受験指導

工業4学科の生徒で補習を希望する生徒については、丙種受験者・乙種4類受験者ともに放課後を利用して、1カ月間の受験指導を行った。市販のテキストや自作のプリントを用い、週2回1時間半程度の補習を行った。前半の4回で「基礎的な物理学・化学」、「危険物の性質・火災予防・消火方法」、「危険物に関する法令」の各項目について説明を行い、後半の4回は問題演習と解説を行った。試験内容を考えると、もう少し補習の時間をとりたいが、会議等でなかなか時間をさけない事情もある。またクラブ活動で全日数出席できない生徒もいる。そのため補習では、生徒が家庭に帰ってからも効率よく自習ができるよう、学習のしかたや重要ポイントを絞って教える等の工夫をした。

6. おわりに

本校の進路状況であるが、英語理数科と普通科に関しては、ほとんどの生徒が4年制大学や短大へ進学をしている。また、工業4学科に在籍する生徒は、例年2割程度が進学、8割程度が就職をしている。工業4学科で就職を希望する生徒のほとんどが、山梨県東部の企業を中心に就職している。職種も電子・機械系の製造業を中心に、建設業、サービス業、公務員など多岐に渡っている。例年6月に行う企業訪問で卒業生の様子を聞く機会があるが、就職先での評判も良好である。また、進学希望者は4年制大学の理工学部や専門学校へ進学をしている。このように、就職と進学の両面で幅広く対応できるのが、本校の特色の1つである。

本校は開校して今年で7年目を迎えるが、これからも地元可愛、地域から信頼される高校を目指し、職員一丸となって取り組んでいく所存である。



支部の広場

滋賀県支部からお届け

はじめに (滋賀県の概要)

日本の真ん中に位置する滋賀県は、その中央に日本最大の湖「琵琶湖」を抱えており、琵琶湖の水の文化と周囲が織り成す美しい風景は、季節の移ろいに応じた折々の景観として楽しむことができます。驚かれるかも知れませんが、「琵琶湖」は、県土の6分の1 (1/2ではありません) を占めており、広大な面積に溜められた豊富な水は、近畿1,400万人もの人々を支える貴重な水源となっています。

古くから交通の要衝の地でもあり、文化、経済の先進地として栄え、歴史ある寺社や戦国時代をはじめとする英傑たちの足跡、歴史情緒が残る街並みなど奥深い歴史文化があり、国内有数を誇る歴史文化資産は、今もなお大切に守り伝えられています。

「琵琶湖」には、60を超える水泳場や湖上レジャーなど年間400万人もの観光客が訪れ、やすらぎを求めるリゾートの場としても多大な恵みをもたらしてくれています。特に近年は、世界に誇るサイクリングルートとして、琵琶湖をサイクリングで一周する「ピワイチ」への人気が高まっています。

令和元年度には、信楽焼の陶器で有名な甲賀市信楽町を舞台としたNHK朝の連続テレビ小説「スカーレット」、令和2年には本県ゆかりの戦国武将“明智光秀”が主人公となる大河ドラマ「麒麟がくる」が続けてTV放送され、本県の観光への注目度が高まっています。

支部の状況

滋賀県支部はJR大津駅近くの県庁から琵琶湖へ向かって徒歩10分の、湖畔沿いのビル「コロボしが21」の4階にあります。周辺には大手ホテルや世界的オペラハウス「滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール」があるなど、観光、文化の漂う風光明媚で大変美しい街並みにあります。当ビルのデッキから見る美しい景色は最高の癒しです。

交通はJR大津駅または膳所駅から徒歩15分のところがありますが、JR膳所駅から京阪石坂線(琵琶湖に沿って大津を縦断する昔懐かしさの残る鉄道マニアには有名な路線)に乗り乗換えて、1駅目の石場駅(びわ湖ホール前)からだと目の前です。

職員は支部長、主任、主事の3名で、受験者目線に立ち、受験しやすい環境を整えることをモットーに、受験者増加対策、危機管理対応(コロナ禍に対応した試験)などの課題を常に相談しながら進めています。また、3人それぞれのキャラクターで、お互いに様々な意見を述べ合い、良好な人間関係の中で日々の業務に取り組んでいます。

試験業務の概要

本県は交通網の発達や恵まれた地理的条件から、これまで一般試験の危険物取扱者試験5回、消防設備士試験2回全てを彦根市にある滋賀県立大学で実施してきました。駐車場も完備していることから県内はもとより県外からも受験しやすい会場として、東は愛知県、岐阜県、西は京都府、大阪府から、総受験者のうち危険物取扱者の2割、消防設備士の5割が県外の受験者となっています。

(※今回の新型コロナウイルスの影響による会場等の見直しにつきましては後述します。)

また、当支部では開設当初から高校生の危険物特定試験に力を入れてきた関係で、平成16年頃までは全受験者の約45%が高校生の受験者でありましたが、平成25年度からの高校再編計画による化学系学科の見直し等もあり約20%に減少しました。しかし、現在でも各高校のご理解もあり、そのほとんどを特定試験として実施させていただいています。さらに、滋賀刑務所、農業大学校、消防学校(初任教育)においても毎年特定試験を実施しています。

そして、試験において重要な役割を果たしていただく監督員は、主に県職OB及び消防職員OBをお願いしており、長年培った正確な事務遂行力による堅実な監督業務とともに、不測の事態が発生した場合には適格な判断力で対応いただいています。

消防職員 特定試験

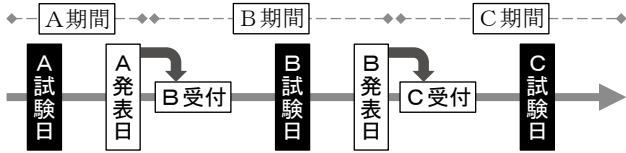
滋賀県内には7消防本部(局)がありますが、多くの消防職員は専門の業務を担当するだけでなく、予防業務をはじめ近年増加している危険物施設事故、特殊災害、救急業務など多種多様な災害に対処しなければならず、危険物取扱者の資格(知識)が必要不可欠とされています。こうしたニーズに応えるため、県消防長会及び湖南広域消防局の協力を得て、昨年度「受験しやすい環境モデル事業第Ⅱ期」として県内現任消防職員(団員含む)を対象とした特定試験を実施しました。受験者からも「来年もまた受験したい!」と好評であったことから、令和2年度も湖南広域消防局北消防署において11月に実施する予定です。

※令和元年度: 初任教育生55人、消防職員・団員43人 計98人

受験者が増加

昨年度の危険物取扱者試験については、3月の試験が新型コロナウイルスの影響を受けたものの、令和元年度の受験者は6,549人となり、前年度6,120人から429名(7%)の増加に転じる

ことができました。これは高校対策において4月当初から各校の先生方の協力を得ながら試験環境の把握とそれに対する課題解決に努めてきたこと。年間5回の一般試験では、合否発表後に引き続き次回の受付ができるよう、受験しやすい実施計画（日程）としてきたことが要因に挙げられます。



併せて、消防職員・団員に対する試験環境の整備などが増加要因になったと思います。

また、消防設備士試験についても平成30年度の923人から令和元年度957人と僅かですが増加しました。

■受験申請者数等の推移

区分	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年比
危険物取扱者		7,577人	7,491人	7,468人	6,120人	6,549人	7%増
うち特定試験		2,135人	2,250人	2,189人	1,302人	1,602人	23%増
消防設備士		1,113人	933人	1,145人	923人	957人	4%増
計		8,690人	8,424人	8,613人	7,043人	7,506人	6.6%増

○“With コロナ”に伴う新しい試験の形

令和2年度に入り、新型コロナウイルスが猛威を振るい、会場の滋賀県立大学が前期校内立入禁止となったことから、(※他大学等施設も使用叶わず)やむなく5/24、8/2の2回の危険物試験と6/14の消防設備士試験を中止(延期)といたしました。幸いにも高校特定試験は一般試験との分離実施をしているため、受験者の大きな減少はあったものの7月分試験(8校271人)は実施できました。11月、1月にも予定しており、この事態であるからこそ各高校施設をお借りしながら安全に実施したいと考えています。

現在、10/11の危険物試験をはじめ、後期一般試験(4回)についても大学施設の借用が困難となってきたことから、来年度以降も含めたコロナ禍における試験運営を根本的に見直しているところです。滋賀県においては1,000人規模の試験を一度に実施できる会場が少ないため、年間を通して土曜・日曜を含めた複数日を連続して押さえられる会議室を確保し、一受付あたりの試験回数を増やす運営方法を模索しております。滋賀県は特に製造業関係の受験者が多いため、この機会に平日試験も含めた日程を検討中です。職員の負担はありますが、この緊急事態を乗り越える方法は他にありません。感染の第2波・第3波も想定しながら、県との調整の上、柔軟な実施計画を模索していきたいと思っております。

そして、何より受験者に安全・安心に受験いただけるよう、消毒液や監督員用フェイスシールドの確保、ソーシャルディ

スタンスを確保した会場配置計画、当日マニュアルの作成等入念な準備作業をして迎えなければならないと思っています。

○免状業務の概要

最近5年間の免状交付状況の推移は下表のとおりです。

免状の新規交付件数は、受験者数の増減や合格率に左右されるものの、受験者数の推移とほぼ同様の傾向を示しております。最近の免状交付数は4,500件前後で推移しています。

免状の書換えが適正に行われるよう「写真書換えのお知らせ」を平成27年度から開始しておりますが、あらためて10年の写真書換え義務を理解されていない方がおられることを痛感します。今後も継続して行うことで免状取得者への周知を図る機会にしたいと思っております。

また、当支部では県ホームページや各地域の防火保安協会機関誌による広報、県防火保安協会連合会が行う法定講習の際での受講者に対する周知等で啓発を行っています。

■交付件数の推移

区分	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
危険物取扱者	新規交付	2,250件	2,285件	2,442件	2,182件	2,465件
	写真書換え等	1,708件	1,606件	1,749件	1,799件	1,918件
	小計	3,958件	3,891件	4,191件	3,981件	4,383件
消防設備士	新規交付	335件	277件	355件	262件	267件
	写真書換え等	118件	143件	124件	112件	147件
	小計	453件	420件	479件	374件	414件
合計		4,411件	4,311件	4,670件	4,355件	4,797件

○おわりに

今年3月からは、新型コロナウイルスの感染症拡大により試験が大きく影響を受け、国家資格を必要とする方々に十分な受験機会を提供できないジレンマに苛まれております。

しかし、コロナ禍で感じるのは、苦境に立った時にそれを乗り越えようとする人間力です。今回、受験者の方々には大変なご迷惑をお掛けしているのですが「このような事態だから仕方ないですね」という言葉を多くかけられます。さらに、試験の際には黙っていても積極的に“手指の消毒”“マスク着用”などの感染症対策をされます。そのような行動に対して心から感謝したいと思います。

そのためにも、今後のコロナ禍の長期化も見据えて、会場確保のために関係機関と十分な調整を行うとともに、不安を持っておられる受験者に安心して受験いただけるよう、きめ細かな情報提供や試験環境を整備し、試験機会をお届けしたいと思っております。



滋賀県イメージキャラクター

トピック topic

これまでを振り返って ～甲種合格までの道のり～

私が危険物取扱者試験を受験した流れ

高校1年時	平成30年11月	乙4類合格
	平成31年2月	乙5類合格
高校2年時	4月	乙1・3類合格
	令和元年11月	甲種合格
	令和2年2月	乙2・6類合格

危険物取扱者との出会い

私が危険物取扱者という資格を知ったきっかけは、現在在学している高校のパンフレットに取得可能なものの一つとして紹介されていたからです。工業高校生である間により多くの資格を取得し、自分の可能性を広げたいと思っていた私は、乙種第4類から受験することを決意しました。

また、当初は乙種第4類だけ取得できればいいと考えていましたが、地域企業様を見学させていただいた際に4類以外も取り扱っていること、有資格者がいなければ作業できないため重要な資格であることを知りました。このことから、社会に広く必要とされている資格であると感じ、消防法に定めるすべての危険物を取り扱うことのできる甲種を取得したいと考えるようになりました。

乙種第4類を受験して

乙4に限らず、危険物取扱者試験の対策は独学で行いました。そのため、計算問題や難しい問題が解けず、悩むことも多かったです。

試験は「法令」、「物理・化学」、「性質・消火方法」の3科目計35問出題され、各科目正答率60%以上で合格となります。

「法令」は、テキストを繰り返し読み込み、重要となる語句や数量を覚えました。特に書類や届出の提出先、指定数量等といった細かい部分も確認しておく、本試験の際に解答の手助けになると思います。

「物理・化学」は、中学校までに学習した科学の内容プラス新要素だったため、比較的勉強し易かったです。日常生活とリンクする事柄も多く、イメージしやすい分野でした。



瀬川 雅樹 せがわ まさき

岩手県立黒沢尻工業高等学校
機械科3年
部活 吹奏楽部
生徒会長を務める

「性質・消火方法」は物質の種類が多く、性質や特徴を個別に覚えることが難しかったです。引火点や溶解する物質、色や匂い等区別すべき事柄が多岐にわたるため、私はこの科目の学習が一番大変だと感じ、多くの勉強時間を費やしました。

このような学習を毎日の授業や部活の合間を縫って2か月続け、問題の正答率が80%以上になるようにしました。試験当日は初試験であることからの緊張や、初見の問題に悩みながらも確実に解き進めることができました。2週間ほどが経過し、結果を確認すると合格していました。これまで頑張ってきたので喜びも一入でした。実際に免状が届いた時の感動は忘れることができません。

乙種全類制覇への道

4類取得後、私は甲種の受験資格を得るため、乙種1・3・5類を受験しました。1・3類は併願、5類は単独で受験しました。複数の類を併せて学習すると、内容が混ざってしまうことがあり苦勞しました。試験対策は乙4と同様でしたが、乙種を1つ以上所持していると「法令」及び「物理・化学」が免除になります。そのため、覚えるべき内容が少なく短期間で学習できました。

また、甲種取得後ですが、残る乙種2・6類も受験しました。既に甲種を取得しているため、乙種2・6類が無くとも扱える品目に違いはありませんが、乙種を制覇したいという理由から併願で受験しました。試験勉強にも慣れてきており、2つの類について区別しながら覚えることができました。

本番では乙種全てで80%以上正答することができ、合格することができました。全類取得にあたり、自分に合った勉強法を見つけ、確立できたので良かったです。

甲種取得という目標に向かって

甲種試験には受験資格が必要となります。私は、4つの乙種免状を所持していることで受験資格を得ました。

参考書はテキストと問題集が一緒になったものを1冊繰り返し学習しました。

「法令」及び「性質・消火方法」は問われる内容が乙種と比べより深くなりました。一度触れた内容だったので、きちんとテキストを読み問題を解くことで試験には十分対応可能であると思います。「性質・消火方法」は問われる内容が6類分であり、各類の物質を十分に区別しないと混乱してしまいます。そういった点には注意が必要だと感じました。

私にとって「物理・化学」の分野が鬼門でした。私の所属する学科では物理学や有機化学、電気に関する授業がほとんど無いため、甲種の問題が解けるようになるまで時間がかかりました。この分野の学習に一番時間をかけたと思います。一度つまずくと理解するのに苦労することが、独学の辛いところでした。

学習に費やした期間は2か月ほどでした。これだけ見ると乙4と学習時間は同じくらいに見えますが、甲種の試験対策はそれの比ではありませんでした。朝学校が始まるまでの1時間、授業の合間、昼休み、家にいる間といった自由な時間は全て甲種の学習に充てました。その甲斐もあり、本番では多くの問題に自信を持って解答すること

ができました。自分の中で手ごたえはあったものの、結果を確認するまでは緊張していました。無事試験に合格することができて本当に良かったです。

免状が届いた時の感動は、初めて手にした乙4の時とはまた違った、それでいて興奮と大きな達成感に満ちたものでした。

感想

私はこのような体験から、物事に反復して取り組むことの大切さを学びました。解けない問題や覚えられない事柄でも、毎日繰り返し学習することで解決できたからです。これからの人生において、粘り強く学習し試験に合格できた経験は私にとって自信になると思います。

また、自分の興味のある分野について広く知り、理解を深めることができて良かったです。学校の授業にはない有機化学等に触れることができ、とても新鮮でした。このように、自分のリズムで好きな分野に取り組めることは独学の強みであるといえます。

努力すれば自ずと道は開けることを、身をもって知りました。これからの生活においても、習得した学習法や成功した経験を活かしていきたいと思います。私の体験が、これから危険物取扱者試験に取り組まれる方の参考となれば幸いです。



市街地火災における飛び火に関する研究

消防研究センター 鈴木佐夜香

1. はじめに

2016年12月22日の糸魚川市大規模火災は平時における市街地火災としては40年ぶりであった。ニュースでも雨のように降る火の粉が目撃され、また、現場では火の粉による飛び火が目撃されている。火の粉は燃えている建物や樹木から発生する。燃えている家屋等の一部が風等の力によってはがれ、燃えたまま飛んでいく。この時、炎のある状態（有炎）だったり、ない状態（無炎）だったりする。燃えたまま飛んでいくため、着床地点に可燃物があると着床場所で着火する（飛び火現象）。火の粉は風の影響を受けて遠くまで飛散し、予測していない場所に着火することもあるため、強風下では特に注意するべきと言える。日本では地震火災や市街地火災で話題になることが多いが、世界各地では林野火災やWildland-Urban Interface (WUI) 火災という林野と市街地の両方で起こる火災でも火災拡大の要因として注目されている。

2. 糸魚川市大規模火災

2016年12月22日に中華料理店から始まった火災は強風にあおられ、147軒が被害を受けた[1]。火災は午前10時20分頃に始まったが、住民によると最初の飛び火は午前11時過ぎには目撃されていたようである。また別の地点での飛び火も午前11時半頃までには住民に目撃されていたようである。この際「屋根」が着火したようだとの証言が得られた。しかしながら、これ以降の飛び火被害の具体的な時間に関しては定かではない。これは、住民が避難を開始し始め、目撃することがなくなったためであろうと考えられる。糸魚川消防本部による報告より、飛び火によって被害を受けた家屋は10軒に上ると考えられる[1]。現地調査とGoogle earthでの確認の結果、被害を受けた家屋はほとんどが木造であり、屋根は瓦屋根であったと思われる。飛び火被害を受けた家屋のうち、3軒は半焼であり、残り7軒が全焼であった。半焼家屋のうち、1件の瓦はコンクリート製であったが、残りの2件は粘土製であったと思われる。全焼家屋に関してはどのような屋根であったのか、どこに飛び火を受けたのか、という情報が多くはないが、屋根に被害を受けたものが多かったようである。

実際に屋根が燃えるのを見る前に屋根から白い煙が出て

いた、という目撃談があった。この白い煙は部材からの水蒸気に加え、実際に屋根瓦の下ですでに燃えており、火災の炎が見えていなかった、燃焼による煙と考えてよいであろう。また、燻煙燃焼の可能性も考えられる。

また、半焼家屋（図1）に関しては屋根に着火したことは明らかである。しかしながら、消防による放水作業が行われているため、屋根の具体的にどの部分に着火したのか、燃えたのかということとを断定することはできない。屋根の棟部分が損傷しているが、火災は上方へ広がるため屋根の棟に着火したと断定することは難しいことを心にとどめておく必要がある。



図1 飛び火被害を受けた家屋

発生した火の粉に関しては具体的に下記3章に記述したが、その大きさと割合から考えると、大きな火の粉による被害を完全に否定はできないものの、今回の建物着火の特徴として小さな火の粉が集積し、着火に至ったと考えられる。屋根も経年劣化で隙間が大きくなり火の粉が潜りやすくなったのではないと思われる。

3. 火の粉に関して

火災の最中、火の粉は住民によって目撃されているし、ニュース等映像でも確認できたほど多数見られた。住民による目撃談には、火のついたベニヤ板が飛んでいた、というものから、火の粉が雨のように降っていた、というものまで様々ではある。大きな火の粉（というより火のついた建築材料）は驚きもあり、誰の目にも止まりやすい。また、こういったものは火がついていることもあり大きく見えがちである。小さな火の粉に関しては日中明るい中では非常に見えにくいことも心に留めておく必要がある。

災害調査の際に火の粉の採取を行った。火の粉は計11

か所から、計300弱の火の粉を採取することができた。調査の際に採取した火の粉は消防研究センターにて乾燥させた。乾燥させた火の粉の質量の測定を行った。図2、3に採取した火の粉を示した。ここで、採取された火の粉の多くは比較的小さなものであることが特徴として挙げられる。採取した火の粉の中では60%以上が0.10g以下であり、小さいものであることが分かる。その一方で、最大のものである114g(図3)のものも含めて4%程度(12個)が1g以上であり、それなりの大きさのものも飛散していたようである。最大のものと考えられる114gの火の粉(図3)に関してはその大きさから糸魚川消防本部で保存していたものを提供していただいた。火の粉の採取に関しては私だけではなく同行した消防研究センター調査班、さらに住民の皆様の助けもお借りした。そのため、私が特別小さなものだけを拾ったのではない。また、火の粉の採取を行っていたのは私だけではないので、これが糸魚川市大規模火災で発生した火の粉のすべてではないことをお断りしておく。

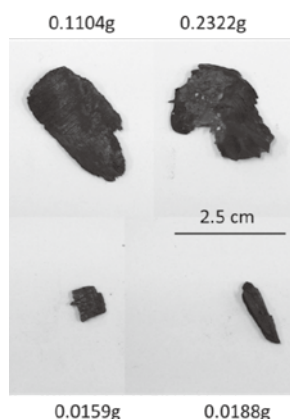


図2 採取した火の粉の例



図3 最大と思われる火の粉(糸魚川消防本部提供)

4. 消防研究センターにおける研究に関して

糸魚川市大規模火災の後、飛び火・火の粉に関する研究の必要性が現在叫ばれている。火の粉の研究分野の中でも発生・着火に関してとなると既往の研究は少ないものの、火の粉による建物着火に関しては近年特に研究が進んでいる[2,3]。米国国立標準技術研究所(National Institute of Standards and Technology、NIST)が火の粉発生装置(NIST Dragon)を開発して以来、「雨のように降る」火の

粉を利用して実験ができるようになった。消防研究センターではNISTと共同研究をしており、火の粉発生装置を利用した実験を行っている。瓦の下に火の粉が潜り込む現象は日本瓦の屋根だけに見られる現象でなく、一般的な瓦屋根によく見られる現象ではある。無炎の火の粉が瓦の下に潜り込んだ場合でも、野地板や椀木に燃え後が見られた。有炎の火の粉が潜り込んだ場合、瓦の下で着火が起こる可能性が高くなる。長い間手入れがされていないと落ち葉等が屋根瓦の下に溜まっていることもある。図4のように火の粉がそういった可燃物に着火すると、なかなか見つかりにくい、有炎燃焼になると瓦の隙間から炎が見られた。

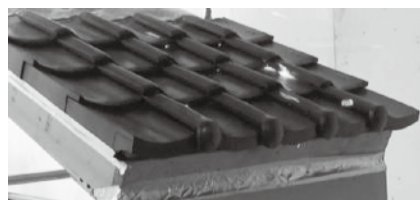


図4 日本瓦屋根の下から炎が飛び出る様子[4]

5. まとめ

糸魚川市大規模火災において発生した火の粉と飛び火被害に関して検討を行った。飛び火被害を受けた箇所は屋根が多いと考えられる。火災現場で採取した火の粉に関しては質量1g以下の小さなものが多かった。小さな火の粉による着火に関するこれまでの研究に関しても簡単に紹介した。

6. 謝辞

糸魚川市での調査では住民の皆様、消防の皆様大変お世話になりました。また、ともに調査をした消防研究センター研究官・調査官に感謝いたします。最後にこれまでの火の粉に関する研究に関して、共同研究者であるNISTのSamuel L. Manzello博士に感謝します。

7. 参考文献

- [1] 総務省消防庁：糸魚川市大規模火災を踏まえた今後の消防のあり方に関する検討会報告書、2017.05
- [2] S.L. Manzello：Enabling the investigation of structure vulnerabilities to wind-driven fire、Fire Safety Science、11、pp. 83-96、2014.
- [3] 鈴木佐夜香：火の粉による建物着火に関する一連の研究、火災学会論文集、第67号、第1号、pp.49-55、2017.04
- [4] S. Suzuki, S. L. Manzello: Experimental Study on Vulnerabilities of Japanese-Style Tile Roof Assemblies to Firebrand Exposures, Fire Technology, 2020 (印刷中)

消防庁の通知・通達等

◆エアゾール式簡易消火具の不具合に係る注意喚起等について

消防予第227号 令和2年8月11日

消防庁予防課長

各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あて

要旨

標記の件については、「エアゾール式簡易消火具の不具合に係る注意喚起等について」（令和元年7月24日付け消防予第88号）により注意喚起をお願いしているところです。

下記対象製品については、これまでに約72,710本が回収されており、近年は事故認知件数も減少傾向となっておりますが、破裂事故による人的被害も確認されていることから、各機関におかれましては、下記事項に留意し、継続的に注意喚起をお願いします。（別添1『「エアゾール式簡易消火具」事故発生状況』参照）

また、破裂事故を覚知した場合は、「消防用設備等及び消防関係製品に関する不具合・事故等に係る情報の消防庁への報告について」（平成22年3月31日付け消防予第156号 消防危第50号）及び「消防用設備等及び消防関係製品に関する不具合・事故に係る情報の消防庁への報告について」（平成22年6月7日付け事務連絡）に基づき、報告をお願いします。

各都道府県消防防災主管部長にあつては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知いただくようお願いします。

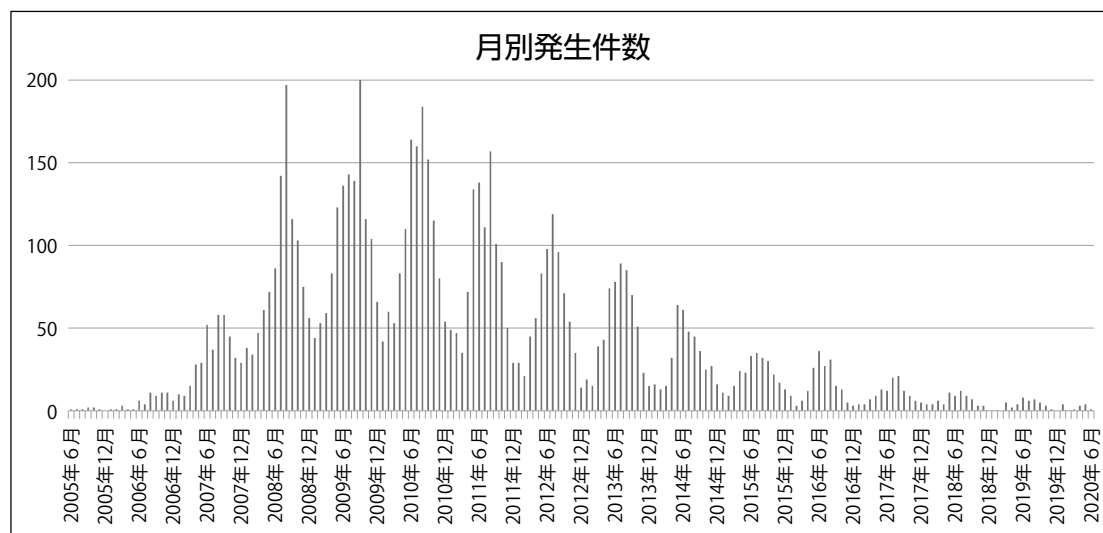
記

- 1 対象製品
ヤマトプロテック株式会社製「ヤマトボーイK T」及び「FMボーイk」のうち、別添2の製造ロット番号に該当するもの。
- 2 事故原因
当該エアゾール式簡易消火具の消火薬剤により、アルミニウム製容器の内面の腐食が進行し、容器板厚が薄くなるとともに、腐食反応により発生した水素ガスにより容器内圧が高まり破裂するもの。
- 3 廃棄処分方法
当該エアゾール式簡易消火具は、消火薬剤を放射することで、容器内の圧力が下がり破裂の危険が排除されるため、ヤマトプロテック株式会社は別添2により消費者自身での薬剤放出及び廃棄処分を依頼している。（ただし、消費者自身で薬剤放出等をできない場合は回収により対応。）
- 4 その他
 - (1) 広報等に使用するため、別添2のパンフレットが必要な場合は、下記の連絡先に必要部数、送付先等を連絡してください。
ヤマトプロテック株式会社 お客様相談窓口 0120-801-084
 - (2) 当該製品の破裂事故は、気温の上昇とともに増加する傾向があります。
各機関におかれましては、火災予防運動や各種行事の機会をとらえた注意喚起のほか、地域の広報誌、回覧板、ホームページ等への掲載など、引き続き広報活動にご協力いただきますようお願いいたします。

別添2 略

『エアゾール式簡易消火具』 事故発生状況

製品事故認知本数7,595本（令和2年6月30日現在）



気温の上昇とともに破裂件数が増加する傾向にあります。

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
1月		1	10	38	44	42	49	29	19	16	11	9	4	2	0	4
2月		1	9	34	53	60	47	21	16	13	9	3	4	4	0	0
3月		3	15	47	59	53	35	45	39	15	15	6	7	7	5	1
4月		1	28	60	83	83	72	56	43	32	24	12	9	4	2	3
5月		1	29	72	123	110	134	83	75	63	23	26	13	10	4	4
6月	1	6	52	86	136	164	138	98	78	57	33	36	12	8	8	1
7月	1	5	37	140	143	160	112	119	89	48	35	27	20	12	6	
8月	1	11	58	196	139	184	156	95	85	45	32	31	21	8	7	
9月	2	9	58	116	202	152	103	71	71	36	32	15	12	7	5	
10月	2	11	45	103	116	115	89	55	50	25	22	13	9	3	3	
11月	1	11	32	74	104	80	50	35	23	27	17	5	6	3	1	
12月	0	6	29	56	66	54	29	14	15	16	12	3	5	0	0	
合計	8	66	402	1,022	1,268	1,257	1,014	721	603	393	265	186	122	68	41	13

※ 全文については、消防庁ホームページに掲載されておりますので参照ください。
<http://www.fdma.go.jp/>

業務報告

6月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	1,170	437	37.4
乙種第1類	1,198	827	69.0
乙種第2類	1,121	780	69.6
乙種第3類	1,397	879	62.9
乙種第4類	17,856	6,961	39.0
乙種第5類	1,304	920	70.6
乙種第6類	1,384	935	67.6
乙種計	24,260	11,302	46.6
丙種	1,487	799	53.7
合計	26,917	12,538	46.6

□危険物取扱者試験実施支部等

青森、岩手、宮城、秋田、福島、栃木、群馬、千葉、東京、神奈川、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、三重、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	9	1	11.1
甲種第1類	627	235	37.5
甲種第2類	11	3	27.3
甲種第3類	9	4	44.4
甲種第4類	721	311	43.1
甲種第5類	24	4	16.7
甲種計	1,401	558	39.8
乙種第1類	12	3	25.0
乙種第2類	7	4	57.1
乙種第3類	1	0	0.0
乙種第4類	62	11	17.7
乙種第5類	2	0	0.0
乙種第6類	729	331	45.4
乙種第7類	42	26	61.9
乙種計	855	375	43.9
合計	2,256	933	41.4

□消防設備士試験実施支部等

東京、沖縄

6月中の免状作成状況

(単位：件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	1,011	11,019	120	5,284	1,131	16,303
本籍等の書換え	126	361	25	62	151	423
写真書換え	10,887	25,660	969	2,309	11,856	27,969
再交付	954	2,598	58	189	1,012	2,787
計	12,978	39,638	1,172	7,844	14,150	47,482

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

7月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	1,083	496	45.8
乙種第1類	914	620	67.8
乙種第2類	754	514	68.2
乙種第3類	731	501	68.5
乙種第4類	12,091	5,539	45.8
乙種第5類	796	508	63.8
乙種第6類	973	567	58.3
乙種計	16,259	8,249	50.7
丙種	1,265	610	48.2
合計	18,607	9,355	50.3

□危険物取扱者試験実施支部等

北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、石川、山梨、長野、愛知、三重、滋賀、大阪、兵庫、奈良、和歌山、広島、山口、徳島、愛媛、福岡、熊本、沖縄

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	91	27	29.7
甲種第1類	868	250	28.8
甲種第2類	465	157	33.8
甲種第3類	421	162	38.5
甲種第4類	1,946	730	37.5
甲種第5類	454	171	37.7
甲種計	4,245	1,497	35.3
乙種第1類	242	66	27.3
乙種第2類	67	34	50.7
乙種第3類	108	39	36.1
乙種第4類	678	264	38.9
乙種第5類	144	71	49.3
乙種第6類	1,644	757	46.0
乙種第7類	488	278	57.0
乙種計	3,371	1,509	44.8
合計	7,616	3,006	39.5

□消防設備士試験実施支部等

北海道、青森、宮城、秋田、東京、石川、岐阜、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、鳥取、徳島、高知、福岡、佐賀、鹿児島

7月中の免状作成状況

(単位：件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	9,360	22,528	328	5,612	9,688	28,140
本籍等の書換え	185	546	22	84	207	630
写真書換え	11,065	39,088	1,171	3,480	12,236	42,568
再交付	842	3,610	86	275	928	3,885
計	21,452	65,772	1,607	9,451	23,059	75,223

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

危険物取扱者試験日程（願書受付が10・11月にかかる日程分を抜粋）
 ※試験日など変更になることがありますので、ホームページ等で確認して下さい。

支部名	試験日		受付期間				甲種	乙種						丙種
			電子申請		書面申請			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	
	月	日	曜日	開始日	締切日	開始日								
北海道	11月1日	日	9月25日	10月2日	9月28日	10月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月20日	日	11月10日	11月17日	11月13日	11月20日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
青森	11月7日	土	9月15日	10月2日	9月18日	10月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月8日	日	9月15日	10月2日	9月18日	10月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月14日	土	9月15日	10月2日	9月18日	10月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月15日	日	9月15日	10月2日	9月18日	10月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月21日	土	9月15日	10月2日	9月18日	10月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月28日	土	9月15日	10月2日	9月18日	10月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
岩手	1月16日	土	11月17日	11月24日	11月20日	11月27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	1月23日	土	11月17日	11月24日	11月20日	11月27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	1月30日	土	11月17日	11月24日	11月20日	11月27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
宮城	11月29日	日	10月12日	10月20日	10月15日	10月23日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月13日	日	10月25日	11月3日	10月28日	11月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月20日	日	11月2日	11月10日	11月5日	11月13日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
秋田	11月29日	日	10月6日	10月23日	10月9日	10月26日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	1月24日	日	11月30日	12月15日	12月3日	12月18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
山形	11月7日	土	9月25日	10月5日	9月28日	10月8日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月21日	土	10月2日	10月12日	10月5日	10月15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月19日	土	10月30日	11月9日	11月2日	11月12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	1月23日	土	11月27日	12月7日	11月30日	12月10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
茨城	2月13日	土	11月23日	12月4日	11月26日	12月7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
群馬	11月15日	日	9月25日	10月6日	9月28日	10月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月29日	日	10月23日	11月2日	10月26日	11月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
埼玉	12月13日	日	10月23日	11月2日	10月26日	11月5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月22日	日	9月14日	10月6日	9月17日	10月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
千葉	11月29日	日	9月14日	10月6日	9月17日	10月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月6日	日	9月14日	10月6日	9月17日	10月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月21日	土	9月28日	10月9日	10月1日	10月12日					乙4			
東京	11月28日	土	10月5日	10月16日	10月8日	10月19日					乙4			
	11月29日	日	10月5日	10月16日	10月8日	10月19日	甲種							
	12月5日	土	10月12日	10月23日	10月15日	10月26日					乙4			
	12月8日	火	10月12日	10月23日	10月15日	10月26日					乙4			
	12月20日	日	10月26日	11月6日	10月29日	11月9日					乙4			
	1月9日	土	11月2日	11月13日	11月5日	11月16日					乙4			
	1月17日	日	11月6日	11月17日	11月9日	11月20日					乙4			
	1月23日	土	11月16日	11月27日	11月19日	11月30日					乙4			
	1月26日	火	11月16日	11月27日	11月19日	11月30日		乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種
	1月30日	土	11月23日	12月4日	11月26日	12月7日					乙4			
神奈川	12月6日	日	10月13日	10月26日	10月16日	10月29日	甲種				乙4			丙種
新潟	11月21日	土	10月9日	10月23日	10月12日	10月26日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月23日	月	10月5日	10月12日	10月8日	10月15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月29日	日	10月5日	10月12日	10月8日	10月15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月5日	土	10月5日	10月12日	10月8日	10月15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月13日	日	10月5日	10月12日	10月8日	10月15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
長野	2月14日	日	11月27日	12月7日	11月30日	12月10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	2月21日	日	11月27日	12月7日	11月30日	12月10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
岐阜	12月6日	日	10月27日	11月6日	10月30日	11月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月25日	日	9月20日	9月28日	9月23日	10月1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
愛知	11月1日	日	9月20日	9月28日	9月23日	10月1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月13日	日	11月7日	11月16日	11月10日	11月19日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	1月10日	日	11月28日	12月7日	12月1日	12月10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	1月17日	日	11月28日	12月7日	12月1日	12月10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
滋賀	12月20日	日	10月30日	11月3日	11月2日	11月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月21日	月	10月30日	11月3日	11月2日	11月6日					乙4			
	12月22日	火	10月30日	11月3日	11月2日	11月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月23日	水	10月30日	11月3日	11月2日	11月6日					乙4			
大阪	11月28日	土	10月12日	10月19日	10月15日	10月22日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月12日	土	10月27日	11月9日	10月30日	11月12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
兵庫	12月13日	日	10月27日	11月9日	10月30日	11月12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月15日	日	9月29日	10月6日	10月2日	10月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
奈良	12月6日	日	10月5日	10月19日	10月8日	10月22日					乙4			
	11月15日	日	9月29日	10月6日	10月2日	10月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
鳥取	11月15日	日	9月29日	10月6日	10月2日	10月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月22日	日	10月6日	10月13日	10月9日	10月16日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月29日	日	10月20日	10月27日	10月23日	10月30日		乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	12月13日	日	10月20日	10月27日	10月23日	10月30日		乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種

徳島	11月14日	土	9月29日	10月6日	10月2日	10月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
香川	11月22日	日	10月3日	10月12日	10月6日	10月15日					乙4			
	11月23日	月	10月3日	10月12日	10月6日	10月15日	甲種	乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種
高知	1月31日	日	11月24日	12月7日	11月27日	12月10日					乙4			
佐賀	11月22日	日	9月25日	10月6日	9月28日	10月9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
鹿児島	11月7日	土	9月15日	9月28日	9月18日	10月1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	1月31日	日	11月28日	12月7日	12月1日	12月10日					乙4			丙種
沖縄	11月29日	日	10月12日	10月19日	10月15日	10月22日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種

消防設備士試験日程(願書受付が10・11月にかかる日程分を抜粋)
※試験日など変更になることがありますので、ホームページ等で確認して下さい。

支部名	試験日		受付期間				甲種					乙種							
			電子申請		書面申請		特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類
	月	日	曜日	開始日	締切日	開始日													
北海道	12月20日	日	11月10日	11月17日	11月13日	11月20日		甲1			甲4				乙4		乙6	乙7	
秋田	11月1日	日	9月11日	9月28日	9月14日	10月1日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
山形	11月28日	土	10月16日	10月26日	10月19日	10月29日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
	1月16日	土	11月27日	12月7日	11月30日	12月10日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
福島	1月16日	土	11月7日	11月16日	11月10日	11月19日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
茨城	3月14日	日	11月30日	12月11日	12月3日	12月14日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
群馬	1月17日	日	11月16日	11月30日	11月19日	12月3日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
千葉	2月7日	日	11月18日	12月10日	11月21日	12月13日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
東京	12月13日	日	10月16日	10月27日	10月19日	10月30日	特類		甲2	甲3		甲5							
	12月19日	土	10月26日	11月6日	10月29日	11月9日												乙6	
	12月26日	土	11月2日	11月13日	11月5日	11月16日									乙4				乙7
	1月11日	月	11月2日	11月13日	11月5日	11月16日					甲4								
	1月16日	土	11月6日	11月17日	11月9日	11月20日												乙6	
	1月24日	日	11月16日	11月27日	11月19日	11月30日		甲1											
	1月31日	日	11月23日	12月4日	11月26日	12月7日	特類		甲2	甲3		甲5							
神奈川	11月14日	土	9月15日	9月28日	9月18日	10月1日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
富山	1月31日	日	11月22日	12月1日	11月25日	12月4日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
福井	1月17日	日	11月16日	11月23日	11月19日	11月26日		甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
長野	1月24日	日	11月6日	11月16日	11月9日	11月19日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
	1月31日	日	11月6日	11月16日	11月9日	11月19日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
静岡	1月17日	日	11月6日	11月16日	11月9日	11月19日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
愛知	11月15日	日	10月10日	10月19日	10月13日	10月22日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
滋賀	1月10日	日	11月13日	11月17日	11月16日	11月20日					甲4						乙5	乙6	
	1月11日	月	11月13日	11月17日	11月16日	11月20日		甲1	甲2	甲3						乙4			
	1月12日	火	11月13日	11月17日	11月16日	11月20日					甲4							乙6	
	1月13日	水	11月13日	11月17日	11月16日	11月20日	特類					甲5				乙4			乙7
	1月14日	木	11月13日	11月17日	11月16日	11月20日					甲4		乙1	乙2	乙3				乙7
京都	11月23日	月	10月13日	10月20日	10月16日	10月23日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
奈良	12月20日	日	11月6日	11月13日	11月9日	11月16日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
和歌山	12月20日	日	10月10日	10月19日	10月13日	10月22日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
鳥取	11月22日	日	9月14日	9月28日	9月17日	10月1日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
島根	12月13日	日	10月6日	10月20日	10月9日	10月23日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
愛媛	12月20日	日	10月16日	10月26日	10月19日	10月29日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
高知	12月13日	日	10月18日	11月2日	10月21日	11月5日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
福岡	12月13日	日	10月6日	10月19日	10月9日	10月22日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
佐賀	1月31日	日	11月21日	12月1日	11月24日	12月4日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
長崎	1月31日	日	11月21日	12月1日	11月24日	12月4日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
大分	1月31日	日	11月27日	12月7日	11月30日	12月10日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
沖縄	11月1日	日	9月22日	9月29日	9月25日	10月2日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7

Voice...

編集後記

2020 September

8月7日の立秋を過ぎ、暦の上では秋です。今年は、梅雨明けが遅く関東地方では8月に入ってからになりました。台風の発生も8月までなく例年と様子が違うようです。

新型コロナウイルスも収束せず、経済面への影響も大きくなっています。危険物取扱者試験や消防設備士試験も予定どおりとはいかない状況です。

とはいえ季節は秋、少しずつ爽やかな気候となります。3密に注意しながら少し体を動かしてみたいかがでしょうか。心も体もリフレッシュしましょう。

後援:消防庁

自分の未来、
自分でつかむ!

挑め! 資格試験

インターネット
申請OK!

バドミントン選手
桃田 賢斗

「人・街を守る」社会に必要とされる国家資格

活躍できる 職場 > 危険物取扱者

			
石油化学工業	自動車工業	塗料業	化粧品業
			
医薬品工業	食品化学工業	ガソリンスタンド	大型量販店

活躍できる 職場 > 消防設備士

		
建築業	電気工業	消防設備業
		
給排水設備業	不動産管理業	防災コンサルタント

消防試験研究センターだより

Voice...

vol.380 令和2年9月発行

編集・発行

一般財団法人消防試験研究センター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル19階

TEL.050(3803)9279(企画研究部) / FAX.03(5511)2751

ホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

モバイルサイト <https://www.shoubo-shiken.or.jp/m/>

